公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス ぶくぶく		
○保護者評価実施期間	2025年 2月 12日		2025年 4月 5日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	23	(回答者数) 12
○従業者評価実施期間	2025年 3月 1日		2025年 3月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	10	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 4月 26日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	利用児童が希望するデイでの過ごし方や、保護者からの将来の生活へつなげるための活動の提案実施を行っている。	法人内の障害福祉サービス事業と連携して、利用児童の生活が安定するためや将来へ向けた相談、体験等を積極的に取り組んでいる。	利用児童や家族が、様々な福祉サービスや生活を充実させるための情報を、知ることが出来るような機会の提供を行う。
2	様々な障がい特性を持つ児童を受け入れ、社会性や協調性を育むことが出来るように、支援方針を考えている。	障害福祉サービス事業に長く携わっている経験を生かして、受け入れに対して前向きな体制を取れるよう検討している。	障害特性に対応するために、指導員の知識の向上を、研修への取り組みを行う等して強化する。
3	利用児童が楽しくデイを利用する事が出来るように、活動内容やプログラムを検討し、希望する活動を行えるようにしている。	利用児童の様子や状態を把握しながら環境設定を行い、必要時は保護者に参加同意書を取る等で安心して参加してもらっている。	活動予定の周知を適切に行えるように、様々な方法を取り入れる。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用児童の障害特性や傾向に合わせた対応を、適切に行えるように、職員研修や振り返りの機会を増やす。	職員間での支援方法の共有、認識を確認する事が足りていなかった。	研修の機会の充実と、振り返りや共有確認する機会を増やすことで改善につなげる。
2	地域子供会との合同行事等を毎年行っているが、広報や周知の不足から、利用家庭への周知に繋がっていない。	広報や周知の方法を増やし、行事企画の計画を早めて行う。	多くの利用児童が参加しやすい企画を検討し、交流事業の促進を図る。
3	第三者委員会の設置をしていないが、法人内管理職会議の開催時に、各事業の課題点を指摘意見をもらっているが、直接支援職員への周知が不足している。	事業課題に関する会議の開催が不足していた。	法人内管理職会議からの客観的意見を、事業会議にて報告議題を毎回設け、支援体制の強化を図る。